

F2-4

情報関連産業の集積の特性に関する研究
東京都秋葉原地区を対象として

Research on the characteristics of agglomeration of information-related industries
Targeting the Akihabara area of Tokyo.

○山田尚徳¹, 山崎晋²
Naonori Yamada¹, Shin Yamazaki²

Abstract: The purpose of this study is to clarify the characteristics of the agglomeration of information-related industries. In this study, We will compare the redevelopment in front of the station in Akihabara with the process of agglomeration of information-related industries, and clarify the relationship between redevelopment and industrial agglomeration. The purpose of this study is to clarify the characteristics of the agglomeration of information-related industries. Through this research, as redevelopment began, the concentration of information-related industries was confirmed throughout Akihabara, and a strong concentration was confirmed especially around Akihabara.

1. まえがき

1980年代より、特定の地域に企業が集積することで、取引にかかるコストの削減や新たなイノベーションの創造といった外部経済の存在が確認された。日本では1990年代より、産業の集積に関する研究が多く見られるようになった。

情報関連産業は、1990年代に国家が運営してきた電気通信事業の自由化、1990年代後半以降におけるインターネットや携帯電話の急速な普及により、産業の拡大がもたらされた。

本研究では、情報関連産業の世界的拠点という目標をもとに再開発が行われた秋葉原を対象に、開発の経緯と現在の秋葉原の情報関連産業の形成過程を照らし合わせることで、秋葉原の再開発が情報関連産業の集積をもたらしたかを明らかにする。

2. 研究方法

まず、秋葉原の再開発の経緯をまとめる。次に各年代の秋葉原地域における情報関連産業の従業者数を千代田区行政基礎資料集を基に集計する (Table1)。集計した数値をもとに、各年代の情報関連産業の特化係数 (Figure1)を求める。導かれた結果を地図上に示すことで、集積の特徴を明らかにする。この二つの調査をもとに、再開発の経緯と集積の特徴の関係性を分析する。

3. 結果と考察

1) 秋葉原の再開発の経緯

秋葉原の再開発の経緯を以下に示す (Table2)。秋葉原は秋葉原貨物駅の廃止や神田市場の移転に伴い発生した大規模跡地を中心に、平成10年度に地区計画を定

め、様々な再開発が行われた。

2) 秋葉原の情報関連産業の集積について

2016年の情報関連産業の従業者数、特化係数の集計結果は以下ようになる (Table3)。これを1991, 1999, 2001, 2006, 2009, 2012, 2014年においても同様に行う。集計で得られた各年代の特化係数を地図に表したものが Figure2 である。これにより、秋葉原地区全体は2000年を境に強い集積が見られるようになったことが示される。また、時代が進み、再開発が進んだ秋葉原の情報関連産業の集積は秋葉原地区の外縁地域にて集積が形成されていることが示されている。

Table1 Survey overview

秋葉原の駅前再開発の経緯の調査	
調査資料	秋葉原アーカイブス (秋葉原電気街振興会) 秋葉原地域のまちづくり (千代田区HP)
調査対象	秋葉原に関する開発行為について
調査項目	秋葉原の駅前で行われた再開発の行われた年数
秋葉原の情報関連産業の調査	
調査資料	千代田区行政基礎資料集 (1991年~2016年)
調査対象	秋葉原駅から半径500m圏内に位置する街区 (外神田1丁目、外神田2丁目、外神田3丁目、外神田4丁目、外神田5丁目、外神田6丁目、神田多町2丁目、神田淡路町2丁目、神田須田町1丁目、神田須田町2丁目、神田鍛冶町3丁目、神田東松下町、神田佐久間町1丁目、神田佐久間町2丁目、神田平河町、神田松永町、神田花園町、神田練馬町、神田相生町)
調査項目	情報関連産業の従業者数

$$\text{特化係数} = \frac{\text{〇〇地域の}\Delta\Delta\text{産業従業者数} / \text{東京23区の}\Delta\Delta\text{産業従業者数}}{\text{〇〇地域内総従業者数} / \text{東京23区の総従業者数}}$$

特化係数とは、地域のある産業がどれだけ特化しているかの程度を表したものである。

例えば、〇〇地域の $\Delta\Delta$ 産業の特化係数が1.0を超えていれば、〇〇地域は東京23区内にて相対的に $\Delta\Delta$ 産業に特化しているといえる。 [3]

Figure1 Overview of Specialization coefficient

1 : 日大理工・学部・まち 2 : 日大理工・教員・まち

3) 秋葉原の再開発と集積の関係

Table2 より、秋葉原の開発行為は主に 2000 年を境に積極的に行われていることが示される。Figure2 より、2000 年を境に集積が強くなっている地域が増えていることがしめされる。この二つの関係性より、再開発が秋葉原における情報関連産業の集積を生み出す要因の一つとなっているということが示唆される。

4. 今後の展開

本研究では、秋葉原地区における再開発と情報関連産業の集積の関係を明らかにした。本研究の成果として再開発によって情報関連産業の集積が形成されたという特徴が示唆されたが、企業が秋葉原を選ぶ理由、

Table2 History of Dedevlopment in Akihabara

年	秋葉原の再開発の経緯
昭和50(1975)	秋葉原貨物駅廃止
平成元年(1989)	神田市場移転・廃止
平成4年(1992)	秋葉原地区開発の基本方針決定
平成8年(1996)	秋葉原駅付近土地区画整備事業の都市計画決定・告示
平成9年(1997)	土地区画整理事業の事業計画決定
平成10年(1998)	「秋葉原駅付近地区地区計画の決定」都市計画決定・告示
平成12年(2000)	「東京構想2000」(東京都)公表
平成13年(2001)	「秋葉原まちづくりガイドライン」(東京都都市計画局)公表
平成14年(2002)	「秋葉原駅付近地区地区計画の変更」の都市計画決定・告示
平成17年(2005)	つくばエクスプレス開業 秋葉原ダイビル竣工
平成18年(2006)	秋葉原UDX竣工 「秋葉原クロスフィールド」グランドオープン
平成19年(2007)	秋葉原タウンマネジメント株式会社設立
平成24年(2012)	土地区画整理事業完了(予定)

Table3 Aggregate Results of Industrial agglomeration

地域名	全産業	情報通信業	従業者(秋葉原/23区)		特化係数	
	従業者数	従業者数	情報通信業	全産業	従業者	
東京都23区	7550364	810679	-	-	-	
秋葉原	98,962	15992	0.01972667	0.01264032	1.56061532	
電気街	外神田1丁目	11,342	653	0.0008055	0.00150218	0.53621938
	外神田3丁目	6,408	457	0.00056372	0.0008487	0.66422109
	外神田4丁目	11,396	840	0.00103617	0.00150933	0.68650833
電気街外	外神田2丁目	6370	869	0.00107194	0.00084367	1.27057209
	外神田5丁目	2366	402	0.00049588	0.00031336	1.58245103
	外神田6丁目	4618	872	0.00107564	0.00061163	1.75865853
秋葉原周辺	神田多町2丁目	2,457	620	0.00076479	0.00032541	2.35020367
	神田淡路町2丁目	11,353	3,153	0.00388933	0.00150364	2.58661802
	神田須田町1丁目	11982	2136	0.00263483	0.00158694	1.66031656
	神田須田町2丁目	7189	1279	0.00157769	0.00095214	1.65699435
	神田鍛冶町3丁目	2109	237	0.00029235	0.00027932	1.0466241
	神田東松町	2658	898	0.00110771	0.00035204	3.14659122
	神田佐久間町1丁目	3840	718	0.00088568	0.00050858	1.74145472
	神田佐久間町2丁目	2979	144	0.00017763	0.00039455	0.45020566
	神田平河町	487	23	2.8371E-05	6.45E-05	0.43986341
	神田松永町	2013	314	0.00038733	0.00026661	1.45279668
	神田花岡町	1270	-	-	-	-
	神田練塀町	5872	2377	0.00293211	0.00077771	3.77018014
	神田相生町	2253	-	-	-	-

つまり企業が集積する要因については明らかにしていない。そのため、今後は情報関連産業の企業へのアンケート調査などを行い、秋葉原に立地する企業の視点から見た企業の秋葉原の選択理由を集計するなど、集積の要因を示すための調査を行い、多角的に秋葉原の情報関連産業の集積の特徴を分析していく必要がある。

5. 参考文献

- [1] 加藤 由理, 大西 隆:「秋葉原地域における産業集積の特徴と集積持続のメカニズムに関する研究」, 都市計画論文集, 39 巻, 3 号, pp.757-762, 2004
- [2] 岩出 和也:「我が国の情報サービス産業の集積の現状」, 日本産業経済学会産業経済研究, 20 巻, pp.105-118, 2020
- [3] 中村 良平:「都市・地域における経済集積の測度(上)」, 岡山大学経済学会雑誌, 39 巻, 4 号, pp.99-121, 2008
- [4] 盧 娜:「秋葉原におけるソフトウェア企業の立地と中国系ソフトウェア企業の特徴」, 国土館大学地理学報告, 20 巻, pp.41-54, 2012

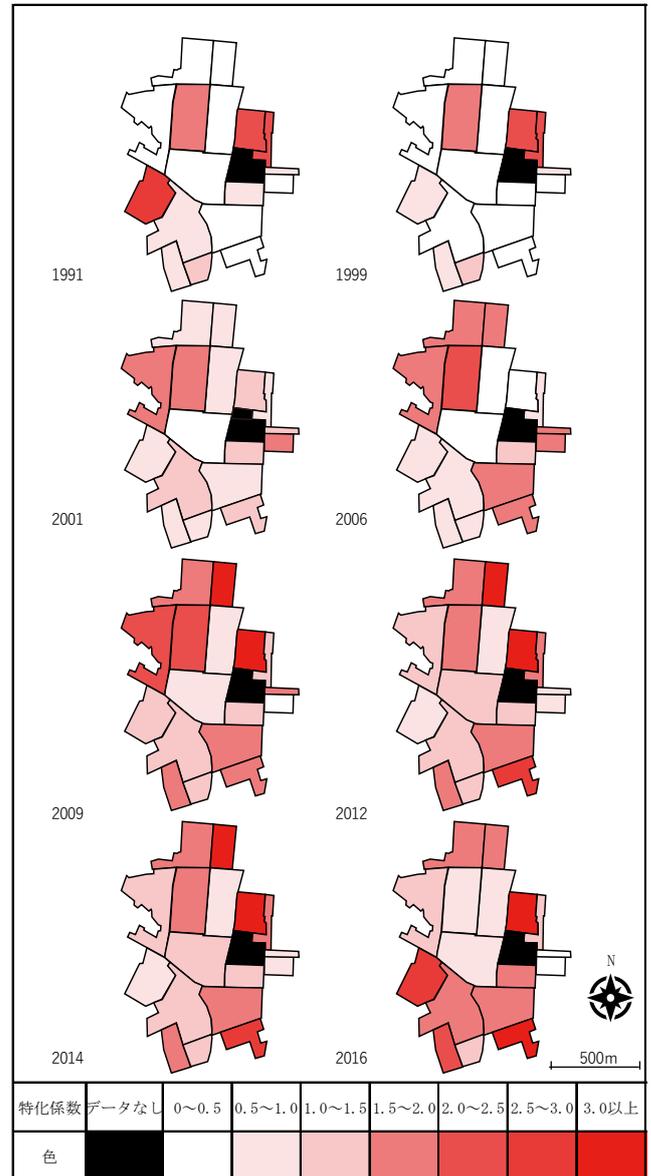


Figure2 Aggregate Results of Industrial agglomeration